

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサークル美浦（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 17日		～ 2026年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2025年 12月 22日		～ 2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応している。	相談や苦情の窓口を設け、それらがあることを保護者へ案内している。また、それらの対応があった際は適切に対応を行っている。	定期的に保護者に対して、相談等の窓口があることを案内していくことも有効である。
2	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行い、保護者の理解を得たうえで利用が開始できる。	保護者へ分かりやすく、過不足なく説明している。	定期的に運営規程や支援プログラムについての説明を、改めて行っていくことも有効である。
3	活動内容が固定化されないよう、職員間でアイデアを出し合い毎日の活動内容を計画している。	月ごとのイベントカレンダーを作成し、保護者へ内容等の通知を行っている。また、活動内容についても限られたスペースで取り組めるよう日々検討を行っている。	安全についてもより配慮し、活動内容の計画や実施を行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の構造上、療育室の中心に柱があり、また個室がない作りとなっているため安全確保の課題や窮屈さがある。	建物の構造上そのような作りになっているため。	壁紙の色を工夫し、開放感が感じられるような雰囲気することや、クッションマットなどを設置しより安全に配慮した環境整備や動線の確保などを行っていく必要がある。
2	こどもの特性や支援などについて、保護者と十分に相互理解がされていない場合がある。	保護者との情報共有の機会や時間等が限られており、十分に話し合いが行えていないことがある。	保護者会や個別相談などの機会を持ち、こどもについての情報共有を行える場を設定していく必要がある。
3			